

旧権力敗退の大立ち回り——ついに地金を表す

2016年12月27日

我々は自分がどういう世界に住んでいるのか、ということについて、世界の人々がここ数年でずいぶん多くの知識を共有するようになった。これは昔から知られていたことでなく、いわば啓示が下りてきたように、最近わかってきたことである。そのように言っている人が他にもいる——「前世紀を通じて、科学技術以外には、基本的にほとんど何も変わらなかった。これに対し、世界のこれほど多くの市民が、これら権力の座にあるサイコパスたちによって行われた裏切り犯罪に、これほど目を開かれたことはなかった。」(Joachim Hagopian)

このほとんど存在を知らなかった「権力の座にあるサイコパスたち」のことを「旧権力」と呼ぶことにするが、これが実は、我々には見えないところで、この地球を乗っ取ろうと大昔から画策してきた陰謀団であることに気づくようになったのは、今世紀初頭の9・11テロから現在にいたる、彼らの行動を通じてである。これは、9・11をはじめとする彼らのウソで固めた戦略がすべて失敗し、彼らの犯罪が隠しきれなくなってきたことによる。「旧権力」と言うのは、デイヴィッド・ウィルコックが、彼らの支配がもうすぐ終わるという認識から、(powers-that-beでなく) powers-that-were (過去の権力) という言葉を使ったのに倣ったからだが、そう認識しないと、事の真相が捉えられないからでもある。

彼らの地球支配がいつから始まったかは考え方による。デイヴィッド・アイクの言うように、レプティリアン=爬虫類人種と呼ばれる(自分を神、支配者と恐れさせた)宇宙人と、人間女性との混血人種が生まれて以来とも考えられ(これは聖書の創世記の物語と一致する)、1776年に、アダム・ワイスハウプトが「イルミナティ」という秘密結社を創始したとき以来とも考えられ、1913年に、この流れを汲む一団が、米連邦準備銀行をひそかに私物化したときからとも考えられる。由来はどうであれ、地球上には常に、この地球とそこに住む人間や資源は自分たちのものだと考える、帝国主義的陰謀団がいたと考えられる。

この陰謀団はいまワシントン政府の背後にいて、アメリカ国家そのもののようには装っているが、彼らの狙いは、自分たちだけのNWO=一世界政府という長年の目的の達成であり、実はアメリカにとって怨敵である。これに対し、アメリカの奪還を宣言して立ち上がったのがトランプであり、陰謀団を代表するのがヒラリー・クリントンだった。

それを知っていれば、ヒラリーに投票する者は、彼ら“1パーセント”を除いて誰もいないはずだが、事の真相が見抜けない者のために、かろうじてトランプが勝った(個人票では

トランプが負けていた)。これは後世の歴史家と言わず、我々から見ても、間違いなく歴史を画する“撰理的”事件だった。

しかし、その後の旧権力の行動が、まさかと言うべき露骨で破廉恥な様相をとった。これは「みっともない」「醜態」と言うほかはない。まず敗北が決まった直後に、彼らの一部（ジョージ・ソロスと言われる）が民衆を扇動して、選挙無効を叫んだ。ところが、これと相前後して、彼らにとって致命的な爆弾というべき「ピザゲイト事件」が起こった。これは言語道断の、ペドフィリア（子供相手のセックス）・人身売買組織が、歴然たる証拠によって発覚した事件である。これは彼らの一部にそういう不屈き者がいるという話でなく、旧権力陰謀団そのものと不可分の、ルシファー信仰を根拠とする「生贄」の儀式を伴うものだった。我々から見れば、これ以上の腐敗と残虐と人間軽視が一つになった極悪犯罪は考えられないが、ワシントンの上層部のすべてが、この犯罪にかかわっているとされる。このことは、ピザ屋を装ったこの不吉な場所の中心人物が、ヒラリーの選挙本部長だったジョン・ポデスタであることからだけでも、わかるであろう。発覚のきっかけは、「ポデスタ Eメール」といわれる否定しようのないリーク文書だが、旧権力は、これは改ざんされたものだと、不可能なことを主張している。

その後ずっと、あきれするような彼らの汚い画策が続くが、これは彼らの拠って立つサタン信仰が、神の創ったすべてを破壊することであるから、人間も人間の常識や美德（フェアプレイや潔さ）も、すべて侮辱することが彼らの使命である。そう考えなければ彼らの行動は理解できない。要するに、彼らの地金がはっきり表れたということである。「ポデスタ Eメール」の暴露は、彼らの言う外からのハッキングによるものでなく、内部からのリークだということも、多くの専門家断言している。続いて彼らは、“選挙人団”投票で、ヒラリーの逆転当選を画策したが失敗し、最後のあがきで、自分たちに都合の悪いすべての「代替メディア」を、犯罪とする法律を作るに至り、トランプを勝たせたのはロシアの工作だとして、主流メディアを使って反ロシア宣伝をしている。今「ニセ旗攻撃」が予想される危険な状態にある。まさに誰かが言った「帝国の末期症状」なのである。